

[課程一 2]

審査の結果の要旨

氏名 木下晃秀

本研究は、前頭極を対象とした real-time NIRS (Near infrared spectroscopy) によるニューロフィードバック(以下 NFB)を開発し、26名の健常成人を対象として開発した NFB システムの検証を試みたものであり、下記の結果を得ている。

1. 5名の健常ボランティア参加者を対象として、計測時の負担が少ないとされている NIRS を用いた NFB システムを開発した。
2. 1で開発した NFB システムを用いて 26名の健常成人を対象に、1日だけの NFB 訓練を行い、開発したシステムの妥当性について検証したところ、その有用性が確認された。

本論文では、前頭極を対象とした real-time NIRS による NFB システムを開発し、その有用性を検証した。NIRS による NFB の先行研究は少なく、前頭極を対象とした NFB 研究は本研究が初となる。このシステムを用いる事で、参加者への負担が少ない状態で NFB を施行する事が可能となり、将来的には長期プロトコルへの移行や精神疾患患者への応用が期待される。臨床応用を見据えた NFB の開発とその効果の実証に貢献したと考えられ、学位の授与に値するものと考えられる。

本論文は1年以内に学術雑誌から刊行される予定であるため、支障が無い範囲で要旨を公表する。